

おはようございます。日本国大使の山本です。卒業生の皆さん、小学部のご卒業おめでとうございます。

卒業生にとって、この六年間は、とても特別な六年間であったと思います。世界各地に数多くの日本人学校や補習授業校がありますが、ここマスカットでは、現地の学校とこの補習授業校と二つの学校に、毎日通わなくてはなりません。他の国ではそうではありませんから、マスカットならではの特別な事情です。卒業生自身にもご家族にも、格別のご苦労があったと思います。でも、他の場所で学んだ児童生徒に較べて、楽しいことも大変なことも二倍の経験をしたことは確かです。

四年生から六年生までの三年間は、新型コロナウイルスに翻弄された三年間でした。今まで経験したことのない状況の中で、先生方も運営委員皆さまも、児童生徒たち、保護者の方々も、試行錯誤を重ねながら、学びの場を途切れることなくつなげました。パンデミックとは無縁だった時代には気がつかなかった、物事が途絶える恐ろしさ、それを復活させていく勇氣と喜びを、はつきりと実感されたことと思います。

特別づくしであっただけに、今日のご卒業を保護者の方々とともに、一層特別な気持ちで喜び合いたいと思います。難しい状況の中、この補習授業校においても日常が回復し、今日の卒業式を無事迎えられる運びとなったのは、多くの人々のご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。新たに就任された吉田日本人会会長、露口運営委員長始め関係者皆様におかれましては、引き続きのご支援ご采配をよろしくお願い申し上げます。

補習授業校が、新型コロナウイルスを乗り越え任務を全うできたのは、何よりも中谷校長先生始め先生方の献身的な努力、工夫、決意のおかげでした。先生方のエネルギーは、児童生徒の全員にしっかりと伝わり、児童生徒にとって、かけがえのない力になったものと思います。中谷校長先生、松下先生、吉崎先生は、この卒業式をもって離任されます。本当にありがとうございます。引き続きのご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

オマーンではコロナを脱し、すっかりと日常が戻りました。改めて、補習授業校の直面する幾多の問題、中には構造的な、大変難しい問題もあります。それらの問題に具体的に向き合っていくべき時期になったと思います。大使館も、補習授業校が安定的な基盤の上に、学びの場として存分に役割を発揮できるよう、関係者皆さまとともに問題の発見と解決に努めてまいります。

結びに、補習授業校のますますのご発展と、皆さまお一人一人のご多幸とご健勝、そしてご安全をお祈り申し上げます。私からの祝辞といたします。